

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オンライン砺波C		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		~ 2026年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		~ 2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	視覚スケジュールを用いた生活の習慣づけ	・視覚スケジュールやタイマーを用いた一連の活動から、生活での様々な活動の定着につながるように支援の取り組みを行っている。	・視覚スケジュールの活動の枠組みの中で、児童の特性に合わせた活動をより増やし、施設内での活動の充実化を図る。また、それらの活動の成果を保護者にもわかりやすく伝えていく。
2	デジタル機器を用いた支援	・タブレットを用いた活動を通して、小集団でのコミュニケーションやデジタル機器の取り扱い方、タブレットで遊ぶ際の姿勢など多岐に渡る支援に取り組んでいる。	・児童の年齢も上がり、デジタルリテラシーの観点からのデジタル機器との関わり方も踏まえて支援に取り組んでいく。
3	係活動への取り組み	・児童全員が始まりの会での当番や、それぞれ係に所属し係活動への取り組みを毎日行っている。	・係活動の種類を増やしたり、活動の内容を変更したり等を行い、児童が自分たちの力で社会の力となっていると感じるような魅力のある係活動へとよりよくなっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	視覚スケジュールに沿った活動の枠組みが活動内容の固定化と捉えられやすい。	・視覚スケジュールに沿った活動により、活動内容が固定化されているように感じられやすい。	・施設内の活動について、新しい活動を導入したり、イベントを企画したりと施設内での活動の充実化を図るとともに、児童がどのような活動に取り組んでいるかを保護者の方々にわかりやすくお伝えできるように進めてまいります。
2	児童の活動や支援の様子が保護者の方々からわかりにくい。	・日々の活動の様子を写真や文章で報告を行っているが、定型なものが多くわかりにくい要因となっている。 ・ゲームイベントでは保護者の方の参加もあるが、活動の様子を十分に伝えられることができていない。	・写真や活動の報告では、児童の様子を見ていない保護者にも伝わるような文章や写真を加えていく。 ・ゲームイベント以外にも定期的に保護者も参加できるようなイベントを開催し、児童の様子の見える化を進めていく。
3	家庭支援(ペアレントトレーニング)が不足していると感じられやすい。	・SNSを利用した相談の受付体制があまり理解されていない。 ・保護者が施設での活動の様子を見る機会が少ない。 ・保護者同士での繋がりが少ない。	・面談時などでSNSを利用した相談の受付を行っていることを改めて周知する。 ・保護者参加型のイベントを定期的に開催することによって、施設での児童の様子や支援の様子を保護者に見ていただく機会を増やし、保護者同士の交流の機会も設けていく。